

# 平成24年度京都府公立学校教員採用選考試験について

平成23年 4月15日  
教 職 員 課

平成24年度京都府公立学校教員採用選考試験について、下記のとおり報告します。

## 記

### 1 日 程

- (1) 第1次試験 面接：平成23年7月16日(土)～18日(月)、筆記：平成23年7月24日(日)
- (2) 第2次試験 実技：平成23年8月15日(月)～18日(木)、面接：平成23年8月20日(土)・21日(日)
- (3) 合格発表 平成23年9月9日(金)(予定)

### 2 募集の対象

選考区分	校種等	教科(科目)	採用予定人数	昨年度	
一般選考	小学校		200名程度	190名程度	
	中学校	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、外国語(英語)	150名程度	140名程度	
	高等学校	国語、地理歴史・公民、数学、理科、保健体育、音楽、美術、外国語(英語)、家庭、農業、商業、福祉(※) (※福祉志願者は、福祉の免許状の他に国語、地歴・公民、数学、理科、保健体育、英語、家庭の高等学校教諭免許状のいずれかを有している又は取得見込の者)	110名程度	80名程度	
	特別支援学校		60名程度	50名程度	
	養護教諭		10名程度	10名程度	
	栄養教諭		若干名	若干名	
	北部採用枠	小学校		50名以内	60名以内
		中学校	国語、数学、理科、外国語(英語)	30名以内	30名以内
		高等学校	国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語(英語)	30名以内	20名以内
		特別支援学校		20名以内	20名以内
スペシャリスト特別選考(免許無しのみ)	高等学校 【理 科】…民間企業等における勤務経験が通算して5年以上ある方 【保健体育】…国際・全国規模の大会で優秀な成績を取めた方		10名以内	10名以内	
身体障害者特別選考	一般選考と同じ		若干名	若干名	
合計			540名程度	480名程度	

### 3 募集人員の推移

	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
小学校	200名	180名	200名	180名	190名	200名	200名	180名	190名	200名
中学校	30名	50名	60名	60名	70名	80名	100名	130名	140名	150名
高等学校	20名	20名	60名	60名	60名	50名	70名	60名	80名	110名
特別支援学校	—	—	—	20名	30名	30名	40名	50名	50名	60名
養護教諭	10名	10名	5名	10名	10名	10名	10名	10名	10名	10名
栄養教諭	—	—	—	—	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
スペシャリスト特別選考	20名	20名	20名	20名	10名	10名	10名	10名	10名	10名
合計	280名	280名	345名	350名	370名	380名	430名	440名	480名	540名

4 今回の工夫改善について

項目	内容	理由
<p><b>【拡充】</b> 講師等経験者に対する一部試験免除の免除要件の拡充</p>	<p><b>【免除要件】</b> 全国の都道府県及び指定都市の公立学校又は国立大学法人が所管する学校の常勤講師、若しくは週10時間以上の非常勤講師（複数校の時間数の足し合わせは不可。）として、又は元正規教員として、平成18年度から平成22年度の間に通算2年以上勤務した経験がある者</p> <p><b>【免除対象試験】</b> 第1次試験の筆記試験のうち、一般教養試験</p> <hr/> <p>&lt;府内常勤講師経験者の特例&gt;</p> <p><b>【免除要件】</b> 京都府内公立学校（京都市立を除く。）の常勤講師として、平成18年度から平成22年度の間に通算2年以上勤務した経験がある者</p> <p><b>【免除対象試験】</b> 第1次試験の筆記試験のうち、一般教養及び専門教科試験</p>	<p>・京都市内公立学校（京都市立を除く。）常勤講師経験者に対する免除要件を拡充し、他の講師等経験者と区別することで、より人物重視の選者により、即戦力を確保する。</p>
<p><b>【拡充】</b> 大学推薦特別選考における対象校種（教科）の拡充</p>	<p><b>【内容】</b> 大学推薦特別選考における対象校種（教科）に、次の2区分を追加する。</p> <p>①高等学校（数学） ②高等学校（理科）</p> <p>（現状） ・小学校 ・中学校（数学） ・中学校（理科） } 北部採用枠選択可</p>	<p>・大学等でより高い専門性を身につけた人物を確保する。</p>
<p><b>【継続】</b> スペシャリスト特別選考  （教員免許状を持たない者を対象とする。）</p>	<p><b>【募集校種・教科】</b> ①高等学校（理科） ②高等学校（保健体育）</p> <p><b>【受験資格】</b> ①ア 理科の分野における高度の専門的な知識・経験又は技能を有する方 イ 民間企業、大学又は研究機関等における勤務経験が通算して5年以上ある方</p> <p>②ア 保健体育の分野における高度の専門的な知識・経験又は技能を有する方 イ 選手として、国際的規模の競技会に日本代表として出場した方又は日本選手権大会若しくはこれに準ずる全国的規模の大会において優秀な成績を収めた方</p>	<p>・専門性が高く、経験豊富な人材を確保する。</p>
<p><b>【改善】</b> 小学校実技試験の見直し</p>	<p><b>【内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育実技の水泳を廃止し、器械・陸上・ボール運動を選択制から必須受験とする。</li> <li>・ 音楽実技のピアノ演奏を、課題曲（5曲）からの選択制とする。</li> </ul>	<p>・実技試験内容の一部見直し及び受験者の負担を軽減する。</p>
<p>東日本大震災被災地域居住者等の出願期間の延長</p>	<p><b>【内容】</b> 東日本大震災発生時点から出願時までの間に、青森県、岩手県、宮城県、福島県及び茨城県に居住している方又は、同地域内の大学に在籍中の方について、出願期間を延長する。 （郵送・持参での出願：1週間延長） （インターネットでの出願：12日間延長）</p>	<p>・東日本大震災の被災地域居住者等の出願に係る特例</p>